

## 【地域リハビリテーションについて】

第68回世論調査 調査票より、リハ部分抜粋

千葉県では地域リハビリテーション※の推進・充実に取り組んでおり、そのためには、保健・医療・福祉に関わる専門家だけでなく、地域で暮らす方々の協力が不可欠です。今後の県の取組の参考とするため、県民の皆さまが「リハビリテーション」についてどのように認識し、考えているのかをお聞きいたします。

※ 地域リハビリテーションとは、障害のある子どもや成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活に関わるあらゆる人々や機関がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてをいいます。

問31 「リハビリテーション」を広く捉えると、以下の1～4を含んでいるといわれています。あなたが今までイメージしていた「リハビリテーション」をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

- 1 病気やケガをした人の筋力トレーニングや歩く練習をすること
- 2 自宅に手すりをつけたり、段差をなくして生活環境を調整すること
- 3 道路や公共交通機関などの物理的な段差などを解消して、車椅子で外出しやすい環境を作ること
- 4 色々な人たちが、地域に暮らしていることを理解し、誰もが暮らしやすい地域をつくること
- 5 特にイメージすることはない

問32 あなたが暮らす地域では、障害のある人や高齢者が自らの「したい暮らし」を実現するために、3年前より以下のような「社会的な障害(バリア)」※が減ってきていると思いますか。それとも増えてきていると思いますか。

(〇はそれぞれ1つずつ)

※ 「社会的な障害(バリア)」とは、人が生活の中で不便を感じることを、様々な活動をするときには障壁となるものを指します。

	減 つて きて いる	少 し 減 つ て い る	変 わ つ て い な い	少 し 増 え て い る	増 え て き て い る	わ か ら な い
(ア) 物理的な障害(バリア) 例)駅のホームと電車の隙間、高い位置にあるボタン	1	2	3	4	5	6
(イ) 心理的な障害(バリア) 例)障害や病気を理由に偏見を持つ、関わりを避ける	1	2	3	4	5	6
(ウ) 必要な情報を入手するための障害(バリア) 例)点字・手話通訳のない講演会、音声のみのアナウンス	1	2	3	4	5	6
(エ) 自らが情報や意志などを発信するための障害(バリア) 例)筆談等の環境がなく、言語障害を持つ人が意見を伝えられない	1	2	3	4	5	6

